

## 住吉病院廃止・跡地問題

# 誘致条件引き下げるな 失敗時は公立で存続を

## 市民団体が議会報告・懇談会

「大阪都構想」を先取りし、「二重行政の無駄を解消する」として橋下徹大阪市長が住吉市民病院(同市住之江区)の廃止を決めた問題で、「住吉市民病院を充実させる住之江区市民の会」は4日に同区内で議会報告と懇談会を開き、地元町会

いる365日24時間の小児救急を維持するため、民間病院の公募では小児科医師5人以上を確保することなどが求められて

、また、条件を引き下体制に大恐れもある

住吉市民病院

### 建て替えの方針を市長が廃止に

### 条件緩和示唆する橋下市長

住吉市民病院は前市長時代に、老朽化に伴う建て替えを行い、総合病院から小児周産期医療に特化させる方針が決まっていた。しかし橋下市長は、隣接する住吉区内に高度医療を担う府立急性期総合医療センターがあることを理由に、同病院の廃止・センターへの統合を決めました。

橋下市長が代表を務める大阪維新の会が単独でまとめた「大阪都」の設計図である協定書では、住之江区の一部を除いて両区はとも「南区」と

住吉市民病院の跡地には民間病院を誘致するとしています。公募に唯一応じた医療法人は小児科医師の確保ができず撤退しました。市は9月中旬にも再公募するとしています。橋下市長は「条件が厳しすぎた」として条件の引き下げを示唆しています。

橋下市長は、誘致失敗を住民や地元医師会に責任転嫁し、誘致が遅れても「住吉市民病院の継続はしない。医師の確保はしない」と述べています。



2014年9月21日付大阪民主新報

住吉市民病院問題で市民の会が議会報告懇談会を開きました＝4日、大阪市住之江区内

市民病院を16年3月に閉院する予定で、空白期間を設けず開院させる民間病院は、地域の医療水準を維持するために病床の過半を不採算部門と言われる産科や小児科とするのが求められ、経営上不利に働きます。

### 廃止に賛成し た市議からも

住吉市民病院の廃止は、跡地に民間病院を誘致して小児・周産期医療機能の存続・拡充を計ることを条件に、日本共産党以外の会派が賛成しました。

### 子どもたちに 宝を残したい

しかし賛成した議員からも、民間病院の誘致ができない場合には、公的病院として残すよう求める声も出始めています。「市民の会」は、再公募にあたり条件の引き下げを行わないことや、民間病院の誘致に失敗した場合は、公立病院として存続させることを求めています。

### 大開発のため 市民施策削る

北山市議は、安心して子どもを産み育てられる環境を残すための一点共闘にとって、「地域の運動がもっと重要にな

る」と述べ、「橋下市長はカシノ誘致に1兆円規模の投資を目指すとしている。こうした巨大開発のために市民向け施策を削っているに過ぎず、『財政難』はごまかしだ。住吉市民病院の運営費は年間約6億円だが、一方で出直し市長選に約6億円を使った。市の財政状況から見れば、公的病院として存続させることは十分可能だ」と指摘し住民らを励ました。

懇談で、西沖保正さんは「同市住之江区在住は、市民の暮らしが次々切り捨てられている。市民病院もかつては総合病院として、医師が日曜や休日関係なく努力し地域に貢献してきたが、診療科目が次々閉鎖された。産科と小児科までなくすということは、絶対にあるべきではない」。香田明さん「同市西成区在住は、子ども3人と孫は市民病院で生まれた。これからの世代がこの地域でお産ができなくなることはたえがたい。中学生や高校生に宝物を残していかないとけない」と訴えました。